

球磨村告示第12号

令和7年第3回球磨村議会臨時会を次のとおり招集する。

令和7年3月19日

球磨村長 松谷 浩一

1 期 日 令和7年3月26日

2 場 所 球磨村議会議場

○開会日に応招した議員

永椎樹一郎君

西林 尚賜君

宮本 宣彦君

板崎 壽一君

東 純一君

嶽本 孝司君

舟戸 治生君

高澤 康成君

田代 利一君

○応招しなかった議員

令和7年 第3回 球磨村議会臨時会 会議録（第1日）

令和7年3月26日（水曜日）

場所 球磨村議会議場

議事日程（第1号）

令和7年3月26日 午前10時00分開会

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 会期の決定について

日程第3 同意第1号 球磨村教育委員会教育長任命の同意について

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 会期の決定について

日程第3 同意第1号 球磨村教育委員会教育長任命の同意について

出席議員（7名）

1番 永椎樹一郎君

2番 西林 尚賜君

3番 宮本 宣彦君

5番 東 純一君

7番 嶽本 孝司君

8番 舟戸 治生君

10番 田代 利一君

欠席議員（2名）

4番 板崎 壽一君

9番 高澤 康成君

欠 員（1名）

事務局出席職員職氏名

局長 假屋 昌子

書記 野々原真矢

説明のため出席した者の職氏名

村長 松谷 浩一君

副村長 上薈 宏君

教育長	森 佳寛君	政策審議監	田中真一郎君
総務課長	境目 昭博君	復興推進課長	大岩 正明君
税務住民課長	蔵谷 健君	保健福祉課長	友尻 陽介君
産業振興課長	高永 幸夫君	農業委員会事務局長	木屋 正行君
建設課長	毎床 公司君	会計管理者	松舟 祐二君
教育課長	毎床 貴哉君		

午前10時00分開会

○議長（舟戸 治生君） おはようございます。本日は第3回臨時会が招集されましたところ、定足数に達しておりますので、ただいまから令和7年第3回球磨村議会臨時会を開会します。

日程第1. 会議録署名議員の指名について

○議長（舟戸 治生君） 本日の日程は配付してあるとおりですので、日程に従い、日程第1、会議録署名議員の指名について、会議規則第123条の規定によって指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、9番、田代利一君、1番、永椎樹一郎君を指名します。

日程第2. 会期の決定について

○議長（舟戸 治生君） 次に、日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日1日としたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（舟戸 治生君） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日とすることに決定しました。

日程第3. 同意第1号 球磨村教育委員会教育長任命の同意について

○議長（舟戸 治生君） 次に、日程第3、同意第1号球磨村教育委員会教育長任命の同意についてを上程します。

本案件について、提出者の説明を求めます。村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） 改めまして、おはようございます。令和7年第3回球磨村議会臨時会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、ご多忙の中、ご出席をいただき、ここに第3回臨時会が開催されますことに厚くお礼を申し上げます。

今回の臨時会では、同意1件を上程させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、上程いただきました同意第1号球磨村教育委員会教育長任命の同意について、提案理由をご説明申し上げます。

現在、執務いただいている森佳寛教育長が、令和7年3月31日で任期満了となるため、その後任として、大瀬克彦氏を本村の教育長に任命したく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

大瀬氏は、教諭として県内の中学校で教鞭を取られた後、教育行政において指導主事や管理主事、八代教育事務所の所長も務められました。また、県内小中学校の校長も歴任され、退職後は人吉市の学校教育アドバイザーとして、現在も教育の振興発展に尽力されておられます。

大瀬氏は、教育行政での経験も豊富であり、その寛仁大度な人柄から、大変信望も厚く、教育長として適任であり、教育行政に情熱を持って積極的に取り組んでいただけるものと確信をしております。

ご審議の上、ご同意いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（舟戸 治生君） それでは、本案件の審議を行います。ご審議をお願いします。10番、田代利一君。

○議員（10番 田代 利一君） 大瀬氏につきましては、私はよく存じてはおりませんが、先ほど村長が申されたとおりと聞いておりますので、賛成をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（舟戸 治生君） ほかにありませんか。3番、宮本宣彦君。

○議員（3番 宮本 宣彦君） 令和2年7月豪雨災の後、現、森教育長におかれましては、精いっぱいやってこられた実績というものは、もう私は多大に評価するところでございます。

いろんなお考えの中で、執行部では新たに教育長をいうことなんですが、ちょうど任期が年度替わりですので、このような流れになっておるとい事情は分かります。そういう中で、教育行政を止めない、間を置かないというようなことも大切でございますので、そのことを考えながら、私は採決に加わりたいと思います。

以上です。

○議長（舟戸 治生君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（舟戸 治生君） ほかに発言がありませんので、直ちに採決を行います。この採決は起立によって行います。

本案件を原案のとおり同意することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（舟戸 治生君） 座ってください。全員起立です。したがって、同意第1号は原案のとおり

り同意することに決定します。

お諮りします。会議規則第44条の規定により、本臨時会での議決された事件について、条項、字句、数字、その他の整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（舟戸 治生君） 異議なしと認めます。したがって、本臨時会において議決した事件の条項、字句、数字、その他の整理は、議長に委任することに決定しました。

○議長（舟戸 治生君） これで本日の日程は全部終了しました。

○議員（10番 田代 利一君） 議長。

○議長（舟戸 治生君） はい、どうぞ。

○議員（10番 田代 利一君） 一言、森教育長にお礼を議会から言いたいと思うんですけど、お許しいいですか。

○議長（舟戸 治生君） はい、どうぞ。

○議員（10番 田代 利一君） 森教育長におかれましては、令和2年度から教育長としてご尽力いただきありがとうございました。

特に、令和2年7月の災害では、渡小学校が被害に遭い、教育環境の問題や損害、転出の家庭の急増による児童生徒数の減少と複式学級の増加、そして、子ども達の心のケアなど、様々な教育課題が山積しました。そのような中、常に子ども達に寄り添いながら、最善の教育活動を推進してこられたことに、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、昨年4月から球磨清流学園がスタートを切られたのは、教育長のご尽力のたまものであります。重ねて感謝申し上げます。

ときには、清流学園や球磨村のことを気にかけていただき、ご指導いただきますようお願いいたします。ありがとうございました。

○議長（舟戸 治生君） ここで、教育長の挨拶をしたいという申出がありましたので許可します。教育長、森佳寛君。

○教育長（森 佳寛君） 皆様、おはようございます。ただいま議長のほうからお許しをいただきましたので、この議会においての最後のご挨拶を申し上げます。

このたび、私が3月末日をもちまして、教育長の職を辞することになりました。

災害から4年9か月、2期目の満了を迎えますが、球磨村はまだまだ災害復興途上にあり、教育面におきましても様々な課題を有しているところです。

本来であれば、引き続きこれらの諸課題に対し取り組んでいかなければならないところですが、

私の継続は厳しいとの状況を受け、大変心残りではありますが退任することとなりました。しかし、ただいま私の後任となる教育長の任命に対し全会一致でご同意をいただき、大変うれしく思うとともに、教育長職に空白が生じなかったことに安堵しております。

ご承知のとおり、大瀬先生は球磨村のご出身でもあり、行政経験も大変豊富で有能な方でございます。

私、教育委員会の意思をしっかりと引き継いでくれる人物であり、今後の球磨村の教育行政を力強く牽引してくださるものと思っております。

思い返しますと、令和2年5月7日、教育長職を拝命いたしました。しかし、当時はコロナ禍により全国一斉の学校が休業状態、子ども達の学びをどう確保、保障していくかという大きな課題からスタートをしたところでした。ようやく6月に学校が再開し、学校現場に子ども達の明るい声が戻ってきたところ、その矢先、あの7月4日の豪雨災害が発生したところです。

球磨村に甚大な被害を与えるとともに、子ども達の家庭も7割近くが被災をし、大切な教育施設、渡小学校も壊滅的な被害状況に陥りました。被害を受けなかった一勝地小、球磨中ですが、そこに至る通勤・通学路も崩壊し、インフラが途絶してしまい、私は2日後でしたか、馬場の下の国道の崩落現場に立ちすくみ、本当に今後の教育、村の学校はどうなるんだろうと計り知れない絶望感に襲われたことを思い出します。しかし、国や県、全国からのご支援により、どうにか1か月後の8月3日には学校を再開することができました。

遠い避難所から、またはランドセルや制服を失った子ども達が学校で再会し、抱き合って、本当に涙し、笑顔あふれる8月3日の学校再開の日の子ども達の姿を一生私は忘れることができないと思います。

その後も様々な課題に直面しながらも、議会ははじめ多くの方々のご支援により、その困難を乗り越え、昨年4月には義務教育学校、球磨清流学園を開校し、新たな教育の歴史をスタートすることができました。

開校から1年間、学校現場では教職員と児童生徒が一つになって、そして、地域の方々のお力を借りながら、義務教育学校という新しい学校文化の創造に取り組んできております。しかしながら、教育活動を進めれば進めるほど、やはり環境施設分離型のそういう課題というのは大きくなっていっているのが現状でございます。

全村民の代表である議員の皆様におかれましては、ぜひ今後も学校現場の声、子ども達や教職員、そして、保護者の思いに耳を傾け寄り添っていただきながら、課題解決に向けた第一歩を踏み出していただきますようお願いを申し上げます。

最後になりますが、教育長としての約5年間、微力ながらどうにか勤め上げることができたのは、議員の皆様をはじめ球磨村役場職員、学校教職員、そして、本日傍聴席にもお見えですが、

球磨村住民の方々のご理解とご支援、励ましのお声かけがあったからでございます。本当に心から感謝を申し上げます。

4月から球磨村を離れますが、今後も球磨村を応援してまいりますので、ときには役場や学校、イベントなどにも顔を出させてください。よろしくお願いします。

先ほども、議員の皆様方から本当に温かいお言葉をいただき感謝の気持ちでいっぱいではございます。それでは、今後の球磨村議会と松谷村政のますますのご発展、そして、村民の皆様方のご健勝と子ども達の明るい未来である球磨村の復興と発展を心から祈念申し上げ、私のお別れの挨拶といたします。皆様、ありがとうございました。（拍手）

○議長（舟戸 治生君） どうもありがとうございました。

ここで、人事異動により熊本県庁に戻られる、田中審議監より発言の申出がっておりますので、発言を許可します。審議監、田中真一郎君。

○政策審議監（田中真一郎君） このような発言の機会をいただきまして、感謝申し上げます。

新聞の報道もありまして、よくご存じの方もいらっしゃると思いますけども、私、このたびの3月をもって球磨村への派遣が終了となり、熊本県に帰任することとなりました。

2年間という短い期間ではありましたが、私も非常に微力ではあったとは思いますが、住まいの再建をはじめとした球磨村の復旧復興に少しはお手伝いできる部分もあったのではないかなと思っております。

県の前職の経験を生かした中長期財政見通しの精査につきましては、今回しっかりやらせていただいて、堅実な内容ができたと思いますので、今後はこの財政見通しを一つの羅針盤としながら、今後の復旧復興の取組を進めていただければと思っております。

特に、今回、球磨村に来まして、この議会の本会議にも出席をさせていただきまして、議員の皆様と議論をさせていただきましたし、答弁もさせていただきました。

私の職位で県におる場合には、こういった本会議に出席するというのは非常にできないようなことでしたので、私にとってはこれは大変貴重な経験になりました。

今後、県に戻りましても、今回の経験をしっかり県職員として行動する中で生かしていきたいと思っているところでございます。

また、今後、政策審議監も、私の後任が来る予定となっておりますので、引き続きお願いできればと思っております。

私が今回の異動によって、環境生活部の環境立県推進課のほうに着任することとなります。

環境立県推進課は、県の環境行政の中核として、地下水保全のような課題、それから、脱炭素もやっております、この脱炭素関係については、脱炭素先行地域である球磨村の皆さんとも、またお仕事をする機会があるのではないかなと思っております。引き続きお願いできればと思っております。

おります。

本当に2年間、短い期間ではありましたが、県に戻りましても、球磨村の応援団という気持ちを持って頑張っていきたいと思っております。

2年間、本当大変ありがとうございました。（拍手）

○議員（10番 田代 利一君） 議長。一言お礼を言わせてください。

○議長（舟戸 治生君） はい、どうぞ。

○議員（10番 田代 利一君） 田中審議監におかれましては、令和5年度から着任いただき、球磨村の復旧復興にご尽力いただきました。

各課長をはじめ職員の信頼も厚く、多くの職員が審議監にご指導をいただいたと聞いております。また様々な課題の解決に導いていただき、多くの功績を残していただきましたことに心より感謝申し上げます。

村の発展に欠かせない人材と言いますが、逸材でありますので残念でたまりませんが、異動は避けて通れません。

今後は県庁から球磨村を見守っていただきながら、ご支援を賜りますようお願いをいたします。

田中審議監のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

_____ . _____ . _____

○議長（舟戸 治生君） これで、令和7年第3回球磨村議会臨時会を閉会します。お疲れさまでした。

午前10時18分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

議 長

署名議員

署名議員